

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	コンピュータリテラシー		
英文授業科目名	Computer Literacy		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	田中 久陽		
居室	西8-818		

公開E-Mail	授業関連Webページ
htan@ee.uec.ac.jp	http://synchro3.ee.uec.ac.jp/

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題： 本学の情報処理センターにおいてPCを使用しながらコンピュータの基礎的，実践的使用方法を学ぶ．</p> <p>(b) 達成目標： UNIX Systemの基本的コマンド，エディタなどの使用方の理解，電子メール，文書作成，グラフィックソフトウェア，ネットワークに関するソフトウェアなどの使い方の修得．</p> <p>(c) 学習・教育目標との対応 IT活用能力：80％，継続学習能力：10％，技術者倫理：10％</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし

【教科書等】
<p>「UNIX入門演習」（コロナ社）越智裕之著 もしくは 「UNIXコンピュータリテラシー」（共立出版） 渡辺成良，若月光夫，織田健 / 共著</p>

【授業内容とその進め方】

パスワードの管理，ログイン/ログアウトの仕方の徹底
Muleを使用して，日本語で自己紹介の文を書き電子メールで送ること
電子メールの返信を受けとること
UNIXのファイルシステムと基本コマンド
エディタ（Mule）によるテキスト編集
電子メールとネットニュース
図や画像の編集
インターネットに関する学習
文章作成ツール（LaTeX）

注意事項：上記の項目について，段階を経て簡単な使用方法から複雑な使用方法まで順序立てて説明していくので，1回欠席するとそれ以降の演習が困難になることがあります．どうしても欠席しなければならない時は連絡して下さい．

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (a) 評価方法：演習課題の達成度および出席状況を考慮して成績を評価する．
- (b) 評価基準：最低基準は演習課題の達成度と出席状況の各々で満点の60%の評価点を得ることとする．

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない．質問等は電子メールで受け付ける．

【学生へのメッセージ】

UNIX Systemは慣れるまで少し我慢が必要です．
慣れる為の努力は後に必ず報われるので頑張ってください．

【その他】

null